





緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムカ爲編纂セル所ニシテ毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和三年ノ統計書ヲ出スニ至レリ本書編ヲ分ツコト四其ノ一ヲ土地戶口等其ノ二ヲ學事其ノ三ヲ産業其ノ四ヲ警察衛生工場等トス

各編收録スル所主トシテ市町村學校ノ報告及廳内ノ調査ヨリ之ヲ得又往往關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ學術ノ進歩世運ノ推移ニ因リ統計ノ用漸ク多キヲ加フ故ニ材料益々正確調査愈精密ヲ期セサルヘカラス是ヲ以テ常ニ意ヲ注キ又新ニ收載シ或ハ表象方法ヲ更メタルモノ鮮シトセス然リト雖尙未タ遺憾ナキヲ得ス此等ハ漸ヲ以テ改善シ其ノ需要ニ適應セシムル所アラムトス

昭和五年三月

福井縣知事官房

昭和三年 福井縣統計書

第四編(警察衛生等)目次

警 察

1	警察部職員配置(定員).....	1
2	警察署職員配置(定員).....	1
3	巡查警部補助職年數及俸給.....	1
4	警部補助隱料遺族扶助料及諸給.....	2
5	巡查退隱料遺族扶助料及諸給.....	3
6	巡查採用及教習.....	3
7	警察上ノ賞與.....	3
8	警察共濟組合救濟金.....	4
9	警察上死傷者.....	4
10	警察電話.....	5
11	令狀執行件數.....	5
12	諸犯罪檢舉ノ一.....	6
13	諸犯罪檢舉ノ二.....	7
14	諸犯罪檢舉ノ三.....	8
15	未成年者喫煙禁止法違反.....	9
16	檢視.....	9
17	檢證.....	10
18	檢視者及檢證者.....	10
19	盜難.....	11
20	盜難物.....	11
21	盜難物發見.....	12
22	遺失物處分.....	12
23	賊捨置物.....	13
24	火災.....	14
25	火災原因.....	14
26	火災損失及死傷.....	15
27	消防組.....	15
28	自殺者.....	16
29	變死.....	16
30	自殺者ノ年齢及因由別.....	17
31	救護.....	18
32	密賣淫及媒合容止者處分.....	18
33	行政執行處分.....	19
34	集會及結社.....	19
35	銃砲火藥免許賣買.....	20
36	狩獵免狀下附人員.....	20
37	捕獲鳥獸數.....	21
38	貸座敷及藝娼妓.....	21

39	演劇興行.....	22
40	寄席興行.....	22
41	活動寫真興行.....	22
42	質屋及質物.....	22
43	質屋及古物商取締法ニ依ル徵收物件.....	23
44	說論及保護.....	23
45	取締諸營業者數.....	24
46	宿屋宿泊人員.....	24

衛 生

47	醫師.....	26
48	齒科醫師.....	26
49	藥劑師、藥種商、製藥者及阿片販賣者.....	27
50	賣藥.....	27
51	入齒、齒拔、口腔治療、接骨及鍼灸、按摩.....	28
52	看護婦.....	28
53	產婆、看護婦、理髮試驗.....	28
54	產婆.....	28
55	鍼術、灸術、按摩術試驗.....	29
56	トラホーム患者.....	29
57	トラホーム檢診成績.....	30
58	傳染病患者.....	30
59	傳染病患者年齡別.....	31
60	娼妓健康診斷.....	31
61	花柳病患者.....	32
62	中毒.....	32
63	屠殺檢査.....	33
64	衛生試驗.....	33
65	藥品巡視.....	34
66	病院.....	34
67	病院患者病類別.....	35
68	傳染病院及隔離病舎.....	35
69	種痘ノ一.....	36
70	種痘ノ二.....	36
71	娼妓病院.....	37
72	衛生ニ關スル諸犯罪處分別.....	37
73	乳兒及幼兒死亡者體性及年齡別.....	38
74	乳兒及幼兒死亡者病類別.....	38
75	生後ノ日數別乳兒死亡.....	40
76	死亡總數ト結核病死亡者數トノ比較.....	40

77	マラリヤ患者年齢別	41
78	精神病者	41

工 場

79	工場臨検	42
80	適用工場数年次比較	42
81	警察署管別適用工場数	43
82	警察署管別適用工場職工数	44
83	事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場数	46
84	事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場ノ職工数	46
85	寄宿舎ノ設アル工場及寄宿職工数	47

86	寄宿舎ノ設アル適用工場数及寄宿職工数	47
87	工場災害別	48
88	職工扶助金額調	52
89	工業主ノ管理スル職工貯蓄金調	52
90	工場法違反	53
91	取締原動機	53
92	原動機ニ因ル災害	54

雑

93	新聞紙	54
----	-----	----

總 説

警 察

警 察 區 劃

昭和三年末現在ニ於ケル本縣警察行政區劃ハ其ノ監督廳タル警察部ノ下ニ警察署十三ヲ置キ更ニ警部補派出所三、巡查部長派出所二十三、巡查駐在所百五十九ヲ置キ一市百七十八ヶ町村ノ警察事務ヲ管理セシメ以テ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ縣民ノ幸福維持ニ努メツ、アリ。

警 察 官 吏

昭和三年末現在ノ警察官吏ハ警察部長一名、警視四名、警部二十二名、警部補三十名、巡查部長七十三名、巡查四百九名、總數五百三十九名ニシテ前年ニ比シ十八名増加セリ。

巡 査 勤 績 年 數

昭和三年末現在巡查總數四百八十二名ヲ其ノ勤績年數別ニ觀レハ五年以上十年未滿百七十名(三割五分)最多ニシテ之ニ亞クハ二年以上三年未滿六十名(一割二分)十年以上十五年未滿五十名(一割一分)一年以上二年未滿四十九名(一割)等ナリ。

火 災

昭和三年中ノ火災發生度數ハ二百七十七件ニシテ失火二百四十九件(九割二分)ヲ占メ放火二十件(六分)雷火及不審火八件(二分)ナリ而シテ延燒セシ度數四十件延燒セサリシ度數九十二件直ニ消止メシ度數百四十五件ナリ

火災ニ罹リシ家屋ハ三百七十五軒内全戸燒失二百九十八軒ヲ算シ其ノ燒失總坪數六千四百五十五坪損失財產見積價額ハ五十六萬二千二百五圓ニ達セリ更ニ之ヲ原因別ニ觀レハ炬燵ニ因ルモノ四十件最モ多ク(一割四分)ヲ占メ取灰二十八件焚火不始末二十八件放火二十件弄火十九件等ヲ主ナルモノトス

消 防 組

昭和三年末現在ノ消防組ハ百七十二組部數五百六十八ニシテ人員一萬九千六百六十五人ニテ組織ス之ヲ前年ニ比スレハ組數一、部數九、人員三百四十人ヲ増加セリ又ポンプ八百三十四臺ヲ有シ前年ヨリ九十七臺ヲ増加セリ。

狩 獵

昭和三年中ニ狩獵免許狀ヲ下附セシ人員ハ八百五十五人ニシテ一等三人二等十七人三等八百三十五人ナリ而シテ甲種二百六十六人乙種五百八十九人ナリ。

又同年中ニ捕獲セシ鳥獸ハ鳥類百四十二萬七千三百八十五羽、價額貳拾貳萬四千五百參拾壹圓八十貳錢、獸類一萬七千七百七十六頭價額拾壹萬參千七百五拾五圓參拾錢ナリ之ヲ前年ニ比スレハ鳥類百二十一萬五千一百一羽價額拾七萬七千參百八拾壹圓六錢、獸類九千九百三十三頭價額七萬六千參百九拾八圓七拾錢ヲ増加セリ。

捕獲セシ鳥獸ノ内主ナルモノハマミチヤシない二十萬二千五百五十七羽、つぐみ八十二萬六千四百八十八羽、しろはら十一萬七千七百二十六羽、あとり十三萬五千二百五十一羽、ひわ七萬九千七百六十八羽、やまざり八千七百四十四羽、すゞめ

八千三百七十六羽、かも七千二百二十六羽、いたち一萬一千五百八十九頭、うさぎ四千三百七十一頭ナリ。

衛 生

醫 師

昭和三年末現在ニ於ケル醫師ノ總數ハ三百九十二人内女醫七人ニシテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ千五百十九人ニ當レリ而シテ之カ分布狀況ヲ觀ルニ福井市九十二人今立郡五十人南條郡三十五人ハ多キ地方ニ屬シ大飯郡六人が最モ少シ、之ヲ經歷別ニ觀レハ其ノ主ナルモノハ大學卒業六十二人(一割六分)官公立專門學校百九十七人(五割)試験及第九十五人(二割四分)ナリ。

齒 科 醫 師

昭和三年末現在ニ於ケル齒科醫師ハ七十二人内女齒科醫師二人ニシテ前年ニ比シ十二人増加セリ、其經歷ハ學校卒業四十四人試験及第二十八人ナリ。

ト ラ ホ ー ム 檢 診

昭和三年中ニ於ケルトラホーム檢診人員ハ四萬七百五十二人内患者ト決定セラレタル人員ハ五千三百八十七人ニシテ檢診人員百ニ對スル患者ノ百分比ハ十三人ニ割合ナリ患者ト決定セラレタル人員中重症五百七十四人(一割)輕症二千九百一十一人(五割六分)疑似症ハ千九百二人(三割四分)ナリ。

傳 染 病 患 者

昭和三年中ノ傳染病患者ハ二百十一人ニシテ前年ヨリ二百十三人減少セリ而シテ腸窒扶斯最モ多ク二百二十二人(五割七分)ヲ占メ之ニ次クハ實扶埜里亞四十七人(二割二分)赤痢十九人(九分)バラチフス十七人(八分)傷紅熱六人(二分八厘)ナリ又患者百人中死亡率ヲ觀レハ次ノ如シ。

腸窒扶斯	22.9	實扶埜里亞	19.1
赤痢	15.7	バラチフス	23.5

花 柳 病 患 者

昭和三年中病院又ハ開業醫ニ於テ取扱ヒタル花柳病患者ハ八千四百四十四人ニシテ内男四千七百三十五人(五割八分)女三千四百九人(四割一分)ナリ之ヲ前年ニ比スレハ男百七十七人(三分七厘)ヲ増シ女九百十二人(二割六分)ヲ増シ總數ニ於テ千八十九人(一割五分)増加セリ。

更ニ之ヲ病類別ニ觀レハ梅毒二千二百九十五人(二割八分)淋病四千四百五十八人(五割四分)軟性下疳千三百九十一人(一割七分)ナリ。

病 院

昭和三年末現在ノ病院數ハ十二ニシテ年内患者總人員ハ六萬四千六百六十一人ニシテ前年ニ比シ千六百五十七人ヲ減少セリ患者ヲ病類別ニ觀レハ呼吸器病一萬四千二百八十八人(二割二分)最モ多ク神經系及五管病一萬二千九百七十九人(二割)消化器病一萬二千八百五十八人(二割)之ニ亞キ泌尿及生殖器

病八千四百七十二人(一割三分)皮膚及筋骨病五千九百四十三人(九分)ヲ主ナルモノトス而シテ呼吸器病ノ内肺病千三十八人ナリ。

乳兒及幼兒死亡

昭和三年中ニ於ケル乳兒及幼兒死亡者ハ三千百九十三人内男千六百五十六人(五割一分)女千五百三十七人(四割八分)ニシテ前年ニ比シ五百十六人減少シ、總死亡百ニ付男二十二人一四女十九人七七ノ割合ナリ。

之ヲ年齢別ニ觀ルニ一歳未満六割七分二歳未満一割七分三歳未満八分四歳未満三分五歳未満二分ノ比例ナリ而シテ更ニ之ヲ病類別ニ觀レハ消化器ノ疾患千十二人(三割一分)首位ヲ占メ次キハ呼吸器ノ疾患六百八十二人(二割一分)腦神經系疾患四百六人(一割二分)等ヲ主ナルモノトス。

工 場

適 用 工 場

昭和三年十月一日現在ニ於ケル工場法適用工場ヲ調査スルニ總數九百八十六工場ニシテ内染織工場ハ六百五十(總數ノ六割六分弱)機械器具工場五十五(總數ノ五分五厘弱)化學工場八十三(總數ノ八分四厘強)飲食物工場十(總數ノ一分強)雜工場百(總數ノ一割四分弱)特別工場五十(總數ノ五分一厘)ニシテ前年同期ノ數ト比較スルニ總數ニ於テ五十六工場ノ増加ヲ示シ之ヲ事業工場別ニ見レハ下ノ如シ。

	昭和三年	前年	増
染 織 工 場	650	615	35
機 械 器 具 工 場	55	54	1
化 學 工 場	83	79	4
飲 食 物 工 場	10	9	1
雜 工 場	138	126	12
特 別 工 場	50	47	3
計	986	930	56

而シテ之ヲ職工數ニ於テ見ルニ總數男六千二百八十五、女一萬八千四百六十四ニシテ前年ニ比シ男三百九十四名女千百名ノ増加ヲ示シ大正十一年ト比較スルニ實ニ、工場數ニ於テ四百九十七ノ激増ニシテ逐年増加ノ一路ヲ辿リツ、アリ。

又事業ノ性質危險又ハ衛生上有害ナル工場ハ總數三百十九ニシテ其ノ主ナル工場ヲ舉レバ前年ト同シク、動力ニ依ル製材ノ百二十六、次ヲ石灰製造業ノ五十三、電氣業ノ四十八、乾燥研磨業ノ三十四ナリ。

工 場 災 害

昭和三年中ニ於ケル工場災害ニ因ル職工死傷者ハ二百四十九名ノ多數ニ上リ、其ノ内死亡ハ男四名ニシテ内三名ハ製材職工内ノ一名ハ大同肥料工場職工禍ナリ。

職 工 扶 助 金 額

昭和三年中ニ於ケル工業主ノ扶助シタル總額ハ參千百參拾圓參拾錢ニシテ内死亡職工ノ遺族ニ支給シタル額ハ千八百六圓八拾錢ナリ。

職 工 貯 蓄 金

昭和三年末現在ニ於ケル縣下工場法適用工場中職工ニ貯蓄ヲ爲サシメ居ル工場百五ニシテ其ノ職工延數、七千四百一人ノ貯蓄總額ハ拾九萬參千六百四拾參圓六拾五錢六厘ニシテ之ヲ貯金種別スレハ下ノ如シ。

郵 便 貯 金	92,836.120
銀 行 預 金	28,526.340
工 場 預 金	71,871.196
其ノ他ノ預金	410.000
計	193,643.656

原 動 機

昭和三年末現在ニ於ケル原動機、取締規則ニ依ル原動機數ハ參千七百六十六箇ニシテ前年ニ比シ四百八十五箇ノ増加ヲ示シ之ヲ大正八年末ト比フレハ實ニ千四百十七箇、馬力數ニ於テ一萬三千三百七十二馬力ノ激増ナリ。